

地域課題・目指す将来像

地域課題

- 対象となる榛原天満台地区は、最寄駅から徒歩30分で、高齢化率40%を越えるオールドニュータウン。団地内に高低差があり、徒歩移動が難しい状況
- 人口の減少、団塊の世代の引退等により路線バスが大幅に減便され、通勤・通学利用が困難
- 路線バスの維持確保のために、民間バス会社に対して年間50,000千円以上の赤字を市が負担しており、今後の市内交通の維持確保が大きな課題

将来像

- 全世代が住み続けられるまち

推進体制



課題解決に向けた取組

未来技術を活用した移動手段の社会実装

⇒通院・買い物の利便性を向上し、全世代が住み続けられるまちの実現

➤ 自動運転技術の導入事業

- ・ 自動運転技術（レベル4）を活用し、高齢者の移動が多い日中の時間帯を中心に病院やスーパー等を複数回周回することにより高齢者の移動手段を確保

➤ 通院・交通における予約の一元化事業

- ・ まず乗車予約システム技術を活用し、市民病院にて次の通院の予約とともに、病院までの交通予約を同タイミングで行えるようにする
- ・ 次段階として、先行地域の一部地域に対して、試験的にタブレットを支給し、通院予約はもちろん行政情報等の地域情報の提供行う

➤ キャッシュレス決済を活用した公共交通における利用促進事業

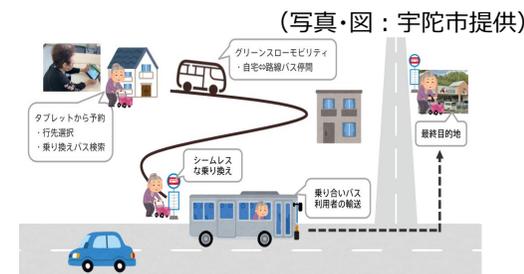
- ・ 自動運転車両及び沿線を運行する路線バスを利用された方に、運賃の数パーセントを付与することで市内交通の利用促進を図る

➤ AI技術を活用した顔認証による見守り・防犯システムの導入事業

- ・ 安心・安全に暮らせるまちを実現するために、AI技術を活用した顔認証による見守り・防犯システムの導入



自動運転導入予定車両（河内長野市提供写真参照）



通院・交通における予約の一元化イメージ図

2022年度の主な取組

- 調査事業（対象地域へのアンケート実施／地元自治会への調整）  
本事業における意見を抽出するために、対象地域に対してアンケート調査及び地元自治会との調整を実施